

KEY FINDINGS

2023年、OSPOの設立やOSS
イニシアチブの導入が **32%**
増加（2022年度比）



OSPOの成長

アジアパシフィック地域で
組織構造化されたOSPOは
2022年の**26%**から**54%**
に増加
わずか1年で108%の伸び



OSPOの成長

96%の組織が
ソフトウェア開発の
ベストプラクティスを
OSPOやOSSイニシアチブ
がドライブし、
著しく改善された
と報告



OSPOの成功

85%の組織で
OSPOやOSSイニシアチブ
が
**相互運用性を大幅に
改善させた**
と報告



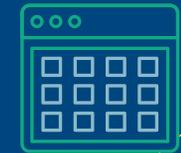
OSPOの成功

OSPOを持つ組織の**90%**
がOSSの使用や貢献に
関する正式なポリシーを
持っている



OSPOの成長

OSPO または OSS
イニシアチブの導入を計画
している組織の **72%** は
今後12か月以内の
導入を予定



OSPOの成長

OSPOおよびOSS
イニシアチブの**93%**は
OSSのセキュリティ問題
に関する意思決定や
アドバイスを
を行っている



セキュリティ支援

構造化されたOSPOや
OSSイニシアチブがある
組織の**52%**は、OSS
ライセンスコンプライ
アンスに対処するための
自動化プロセスを
備えている



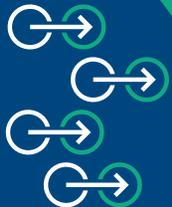
コンプライアンス支援

OSPOやOSSイニシアチブの
ある組織は、
先進的なテクノロジー
を活用する上でほぼいつも
有利な立ち位置にいる



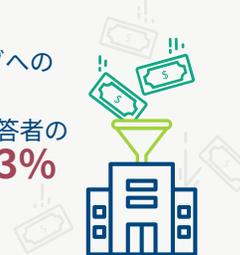
イノベーションの促進

OSPOやOSSイニシアチブ
のある組織は、
**アップストリームへの
コントリビューション**を
約4倍多く行う傾向



プロジェクトの持続可能性

多くの組織が
OSPOやOSSイニシアチブへの
予算が削減されると
考えている—2022年の回答者の
12%から2023年の**23%**
へとほぼ2倍へ増加



OSPOの障壁

**オープンソース
コミュニティとの
コラボレーション**
は、OSPOや
OSSイニシアチブの
最上位の責任



コミュニティの支援